令和2年度　岩瀬中学校グランドデザイン

県中教育事務所指導の重点

○「豊かな心」の育成
　・道徳教育，生徒指導の充実
○「確かな」学力の向上
　・授業の改善・充実
　・学びの基盤づくり
　・幼・小・中・高の円滑な接続
○「健やかな体」の育成
　・体力の向上
　・食育，健康教育の推進
　・幼児児童生徒の安全確保

生徒の実態

○学習への意欲が高まりつつあるが，基礎基本の定着に粘り強く取り組んだり，主体的に学習に取り組んだりする必要がある。
○まじめに落ち着いた学校生活を送っている生徒が多いが，積極的によりよい人間関係を築いたり，強い意志をもって物事に取り組んだりする必要がある。

保護者の願い

○学力の定着　　○思いやりの心の育成
○心身の健康とたくましさの育成

須賀川市教育委員会の重点

○一人ひとりの個性が輝き，「生き抜く力」を育む学校教育の推進
○生きる喜びが生まれる生涯学習の推進
○健康で豊かな生活を育む生涯スポーツの振興
○家庭の教育力向上と青少年健全育成の推進
○豊かな市民文化の創造と伝統文化の継承

教　育　目　標

知性	敬愛	健康
目標の実現に向け，主体的に学習する生徒	互いに思いやり，自他を尊重する生徒	健康で明るく，最後までやり抜く生徒

目指す生徒像

○将来の夢や目標に向かって，生き生きと学び合う生徒
○思いやりがあり，自他の違いを認め合える生徒
○自ら心と体を鍛え，お互いに切磋琢磨する生徒

目指す学校像

○確かな学力を身に付け，学ぶ楽しさが実感できる学校
○生徒たちがお互いのよさや成長を実感できる学校
○自主的，自立的な活動が盛んな活力ある学校

重　点　目　標

知性：お互いに学び合う授業を通して，主体的に学ぶ態度と思考力・判断力・表現力を育成します。
敬愛：お互いにかかわり合う実践的・体験的活動を通して，思いやりや感謝の心を育てるとともに，自己肯定感を高めます。
健康：道徳や部活動を含めた特別活動の充実を通して，自ら進んで行動し，最後までやり抜く態度を培います。

		確かな学力の向上	豊かな心の育成	気力・体力の向上
実践事項	小中一貫教育	【令和2年度の重点】 ◇基礎･基本の確実な定着と活用力を育成する授業づくりを推進する(知) ◇ネットを含めたメディアとの関わり方の指導を充実する。(徳) ◇課題を捉えた体力づくりのために，授業や授業外の活動を充実する。(体) ◇児童･生徒の絆を深める交流活動を推進するとともに，小中学校教員の交流を充実する。(交流) ◇保護者や地域に小中一貫教育に関する具体的な取組を情報発信し，理解を得ながら協力体制を構築する。(発信)		
	重点事項	(1)自ら学び自ら考える力を育てる授業の実践 (2)わかる授業をめざした現職教育研究の充実	(1)生徒の実態をとらえた道徳教育の推進 (2)「考え，議論する道徳」を目指した授業の実施	(1)基本的な生活習慣の確立**と省メディア**を目指した指導の充実 (2)運動能力の向上に向けた活動の充実
	具体的な方策	①生徒の主体的な学習を育むための，**考えを深め合えるグループワークの工夫** ②全国学力･学習状況調査や市学力調査による生徒の実態把握と，それに応じた学習指導および研究の推進 ③授業スタンダードを活用した授業研究の実施	①実態に合わせた道徳教材の選択，活用 **②須賀川モデルをもとにした評価方法の研究推進**	①教科等での食生活や睡眠時間と健康についての指導の充実 ②省メディアを含め，各種メディアとの関わり方についての小中一貫した指導の充実 ③部活動**ごとの新体力テストの分析と**体力増進
	継続実践事項	(1)意欲を喚起させる，学習課題の設定と**小集団活動の工夫** (2)小学校の学習からの系統性を生かした「岩瀬の学び」による学習態度の育成 (3)家庭学習スタンダードを活用した効果的な学習方法の指導 (4)タブレット端末や電子黒板の活用	(1)予防･開発的な生徒指導の充実 ①いじめに関するアンケートの毎月実施と迅速な対応 ②Q-Uを活用した個別指導と集団指導の充実 ③スクールカウンセラー**や心の教室相談員**との連携を図った教育相談の充実 (2)教科における話し合い活動の充実 (コミュニケーションスキルの向上)	(1)講話，朝食調べ等による生活習慣や食生活の振り返りと改善 (2)小中一貫した保健安全指導及び保健教育の充実 (3)学校安全教育の充実 ①交通教室，避難訓練，AED講習会，不審者対応訓練を通した危機回避能力の育成
達成目標	指標	■2学期末の実力テストにおいて県平均または前年度を上回る。 ◆授業のわかりやすさ 3.5ポイント以上 ◆家庭学習の習慣 3.5ポイント以上	■いじめの見逃し　0 ■新規不登校　0 ◆道徳の時間の充実 3.5ポイント以上 ◆良いところを認める指導の充実 3.5ポイント以上	■新体力テスト A＋B＝40%以上　D＋E＝20%以下 ■学校事故　0 ◆生活習慣や食生活の改善 3.5以上 ◆省メディアの取組 **3.5**ポイント以上

※　達成目標の◆は学校評価における目標ポイント